



A cartoon illustration of a woman with blonde hair tied in a bun, wearing a black long-sleeved shirt and a grey skirt. She is holding a green watering can and watering a potted plant. The plant is green with yellow flowers. There are two yellow stars above the plant. To the left of the plant is a brown wicker basket filled with various flowers, including a large green plant, a white daisy, and a blue flower. The background is a solid light blue.

[illegible]

1時間のまち歩き後に
振り返りを実施。シート
に記入した内容を
発表してもらいました。

板塀プロジェクト進行中

行徳まちづくり協議会では今年度、新たに **板塀プロジェクト** を開始しました！

板塀プロジェクトとは？

2024年6月に行徳街道周辺の景観まちづくりに関するビジョンをまとめ、市長に提出しました。このビジョンでは、街の景観を「守るべき景観」「生かす景観」「作る景観」に分類し、実現に向けて地域住民や行政などが取り組むべき点を提案しています。

板塀プロジェクトは「作る景観」の一つで、既存のブロック塀を板塀に変える試みで、新潟県村上市の黒塀通りの取り組みを参考にしています。

村上市では城下町の魅力を高めようと、20年ほど前から市民の有志が、事業の趣旨に賛同する市民からカンパを募って、小路のブロック塀に板を張る景観整備活動を行っています。行徳も、歴史の風情を残した寺町らしい景観にしたいと考え、板塀プロジェクトをスタートしました。

メンバーに
インタビュー♪



板塀プロジェクトのねらいは？

権現道沿いはお寺が多く、本来は風情のあるところですが、ブロック塀によって味気なくなっていると感じていました。ブロック塀を板塀に変える方法を検討していく中で、今あるブロック塀の上に簡易的に板を張り付ける工法なら経費を安価に抑えつつ、高い修景効果が得られるのではないかと考えました。また我々だけでなく、地域の皆さんを巻き込んで一緒に作業することで、景観に興味を持ってくださる方が増え、このまちの景観に対する理解が深まるのではないかと考えました。

START!

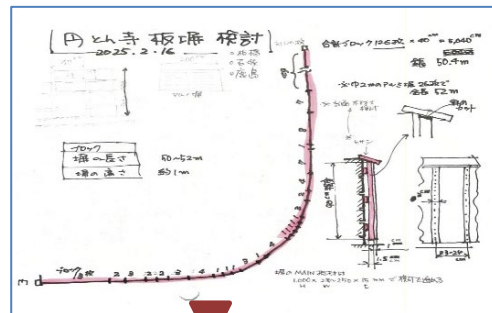
板塀化により景観に良い変化が生まれそうな場所を探す

圓頓寺のご住職にご提案
→ ご住職からの承諾

知り合いの棟梁に板塀の取り付け方を相談

棟梁のお宅の塀で試験的に板塀取り付け作業を実施

図面を作成



必要な板の枚数や材料を検討し、買い出し！



1年前から検討を重ね、入念に事前準備をしたそうです

圓頓寺のブロック塀に固定部材を取り付ける



棟梁のご協力を得て板の切り出し



板に防腐剤の塗布



ここがスゴイ！

- ◆ 図面を描きおこして、板材の必要枚数を試算
- ◆ 景観部会のメンバーの日曜大工の知恵と技を駆使しつつ、プロからのアドバイスをもらって、何度も試行錯誤を繰り返す
- ◆ 飾り板や底も張り付けることで、デザイン性にもこだわり

6月29日（日）9：30

総勢20名が集合

本堂にて、これからの作業の安全を
ご住職に祈願していただき

作業をSTART!



①板材の貼り付け

事前に取り付けられていた固定部材に
板を釘で張っていきます。

1枚のブロックに3枚の板を張ります。



②飾り板の打ち付け

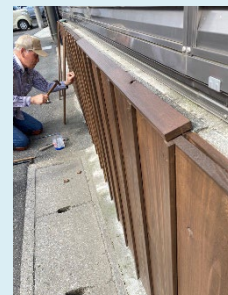


張り付けた板と板の間に
細く切った飾り板を打ち付けます。

2歳の男の子の参加も！
将来の景観まちづくり
の担い手候補！？



③再び防腐剤を塗布



30度近い気温の中、約2時間、集中して作業を行った結果、目標にしていた枚数の板を張り終えて、
この日の作業は終了となりました。後日、協議会の有志が集まり、底を取り付けました。

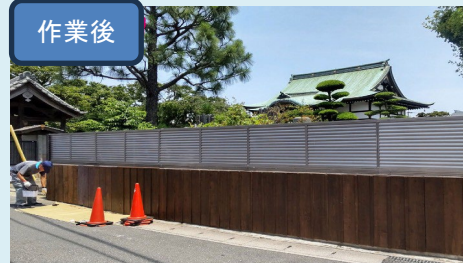


ねらいどおりの
劇的な変化
です！

作業前



作業後



苦労した点は？

施工に至るまでが大変でした。寸法をはかり、図面を描きおこし、寸法通りのサイズに切断、防腐剤の塗布など、板を打ち付けるまでの段どりや準備に手がかかり苦労しました。さらに、ブロック塀のビス打ちの際の力の入れ加減も試行錯誤を繰り返しました。地域の皆さんの協力がありここまでできました。そして皆さんからたくさん声をかけていただいたことも力になりました。



板塀プロジェクトの

端材で木工教室♪

8月17日にこどもたちを対象に本立てづくりを行いました。



今後の予定は？

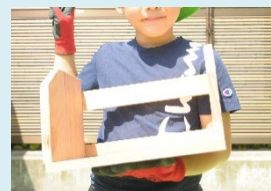
二期工事を10月頃から開始する予定です。難関のカーブ部分はすでに終えて、残すは直線部分の施工です。協議会のメンバーで相談しながら、地域の皆さんと一緒に実施したいと思っています。詳細は後日、行徳まちづくり協議会HPに掲載します！

行徳まちづくり協議会
HPはこちら



圓頓寺の板塀化が完了した後の次なる展望は？

今回の修景を通して、私たちが普段当たり前のように感じている風景が変わってゆく中で「行徳らしい景観」を考えるきっかけとなるようなイベントを継続して企画していきたいと考えています。「うちもちょっとやろうかな」と思っただけだったらうれしいです！



地域で探そう！



文化財 門の巻



寺社仏閣などで「文化財に指定されています」「文化財に登録されています」といった説明を一度は目にされたことがあるかと思います。

ここでいう文化財は、①文化財保護法に基づき、国や自治体により価値が高いと認められ、後世に残す必要があるものと指定する「指定文化財」と、②歴史上、芸術上あるいは学術上、価値が高いと認められ、国の文化財原簿に登録することとした「登録文化財」に分けられます。

今回は、市川市に残されている貴重な文化財の中から、市の指定文化財となっている4棟の「門」をご紹介します。

かつしかはちまんぐう 葛飾八幡宮 ずいしんもん 随神門



門をくぐって日常の喧騒から離れてみると、涼を感じられるかも！？

参道の途中にある鮮やかな朱塗りの門です。かつては、寺院と同じように仁王像が置かれていましたが、明治維新の神仏分離によって現在は左大臣、右大臣を配した門となっています。

【住所】八幡4丁目2-1
【時間】24時間見学可能

寺社仏閣の門は単なる「出入口」というだけではなく、俗世と神聖な場所を区切る境界としての役割もあり、訪れる人を厳かに迎え入れる特別な空間でもあります。



ほけきょうじ 法華経寺 くろもん 黒門

法華経寺の総門（寺院の敷地に入る最初の門）で、全体が黒塗りとなっているため黒門と呼ばれています。建築年代は不明ですが、様式から江戸時代中頃と考えられています。

【住所】中山4丁目7地先
【時間】24時間見学可能



とくがんじ 徳願寺 さんもん 山門

朱塗りの門で、江戸時代の安永4年（1775年）に建築されました。山門に安置されている仁王像は、明治維新の神仏分離によって葛飾八幡宮の随神門から移されたものです。

【住所】本行徳5番地-22
【時間】日中のみ見学可能



お寺の正式な入口のことを山門と言います。



みょうこうじ 妙好寺 さんもん 山門

今では珍しい切妻茅葺の屋根を持つ和洋四脚門です。大部分が檜材で構成され、全体は弁柄塗りが施されています。また、細部の造りや絵様は江戸時代後期の寺社建築の特徴を表しています。

【住所】妙典1丁目11-10
【時間】24時間見学可能

